

優良工事・優良業務表彰が行われる

平成23年度に完成した工事や業務のうち、優秀な成績を収めた受注者又は技術者に対する表彰が、国土交通Dayに併せて局長表彰が7月17日(火)に事務所長表彰が19日(木)に行われました。

工事では、「大谷川第3砂防堰堤資材運搬路工事」を施工した(株)久保田工務店が局長より表彰されました。また、優秀下請業者として、同工事の太洋基礎工業(株)と揖斐昭和建設(株)が事務所長より表彰されました。

業務では、「大規模土砂災害危機管理検討業務」を実施した(財)砂防フロンティア整備推進機構・日本工営(株)設計共同体が局長より表彰され、「砂防設備・溪流状況点検業務」を実施した玉野総合コンサルタント(株)管理技術者 加藤 真雄さんが事務所長表彰されました。

(※ 優良業務の紹介は次面をご覧ください。)



写真左は大洋基礎工業(株)伊東さん、写真右は(財)砂防フロンティア整備推進機構・日本工営(株)設計共同体 坂口さん

急峻地形など困難な施工条件を克服

(株)久保田工務店

本工事は、揖斐川町坂内広瀬(さかうちひろせ)の大谷川(おおたにがわ)に砂防堰堤を築造するために必要な資材運搬路を設置する工事です。現場は急峻な地形を有し、土質が軟弱な箇所もあったため、当該事務所では初めて気泡混合盛土を使用した軽量盛土擁壁を採用しました。

気泡混合盛土の施工には、工程上冬期に向かう期間での施工となり、冬期実績が少ないことを考慮して、全国の事例を独自に収集し、その対応策の検討を行い、品質を低下させずに工事を完成させました。さらに、急峻な地形での安全施工のための足場等の設置や、急峻な法面での土工事に対する安全施工など、困難な条件を克服して完成させたことが評価されました。



急峻な斜面で安全・確実な施行への取り組み評価された

併せて優秀下請業者2社を表彰

大洋基礎工業(株)・ 揖斐昭和建設(株)

本工事の完成に向け下請けとして顕著な功績があった大洋基礎工業(株)及び同社の主任技術者 伊東礼三さんと揖斐昭和建設(株)に対して事務所長表彰が行われました。

伊東さんは、担当する軽量盛土や基礎工の施工において、豊富な経験と技術力を持って工法の提案や管理を行い、また、施工に先立ち元請けや事務所職員等を対象とした軽量盛土工法の勉強会の運営に協力するとともに、過去の経験を生かした施工を行いました。揖斐昭和建設(株)においては、急傾斜法面の掘削において、熟練した技術力をもって無事故で施工した事が認められました。



施工足場を工夫



急峻な法面の切土

仮設を工夫し工期内完成

工事着工前の照査により道路線形変更の必要が生じ、当初予定していたよりも急斜面での掘削が必要となりました。また地質の不一致もあり、軽量盛土擁壁の基礎地盤に施工する小口径杭基礎工の施工範囲が広がりましたが、施工足場の他に通路足場を設置して始点からの基礎工、終点からの軽量盛土擁壁を併行作業して工期内完成に努めました。



現場代理人 石原 敬太さん



監理技術者 中田 朗さん



大洋基礎工業(株) 伊東 礼三さん

工程上、片押し施工では工期が間に合わなくなってしまうので、いかに全延長同時施工が可能かが問題でしたが、作業足場と資材運搬足場の両方を設置することで全体施工が可能となり無事に完了することができました。



揖斐昭和建設(株) 中条 外寛さん

バックホウでの急斜面の掘削で、重機足場を確保し、路肩崩壊による重機の転落防止の為、接地圧の少ない不整地車輛による残土運搬や、オペレーターに経験豊富な人材を配置し、事故防止に努め無事故で工事を終える事が出来ました。

大規模土砂災害合同防災訓練を実施

(財)砂防フロンティア整備推進機構・
日本工営(株)設計共同体

平成23年5月の土砂法の改正により、大規模な天然ダムの緊急調査を国の責務において行う事となりました。

これを受け当事務所では、事務所職員のみならず県・市町の防災担当職員やその他の関係機関連携してロールプレイング方式による大規模土砂災害合同防災訓練を行いました。「大規模土砂災害危機管理検討業務」では、業務の途中で発生した紀伊半島における天然ダム災害を踏まえ、より実践的な防災訓練の企画・運営を行うと共に、危機管理計画の策定し、その優れた成果が認められました。



平成23年11月27日揖斐川町で
行われた合同防災訓練



進捗調整が一番の苦勞

本業務は2社の設計、私を含め8名の担当者で従事したため、各担当の進捗調整が一番苦勞しました。

防災訓練における訓練シナリオ作成に当たっては、想定する天然ダム等をどこで発生させるのが重要なポイントでした。また、「大規模土砂災害危機管理検討会」を3回開催することで、事務所と関係機関との意思疎通が図られ連携の必要性が確認できたのではないかと思います。



管理技術者
坂口 哲夫さん

災害時緊急点検を安全・着実に実施

玉野総合コンサルタント(株)

「砂防設備・溪流状況点検業務」では、管内の砂防施設の点検及び豪雨後の緊急点検を実施する業務です。

管理技術者の加藤さんは、平常時は緊急時に備え、すぐに点検ができる体制を整えるとともに、豪雨後は調査員の安全に細心の注意を払いつつ、無事故で迅速な点検作業と結果報告がなされた事が評価されました。



平成23年8月25日の豪雨により土石流を捕捉した越波第3砂防堰堤(本巢市根尾越波)の緊急調査

緊急点検員の無事で一安心

業務の性格上から現場点検員に苦勞をかけ続けて得た表彰であり、その中でも昨年度の8月25日の大雨時に越波第3砂防堰堤から土砂流出した際の緊急点検での対応が評価されたのではと思っています。

緊急点検の連絡があつてからすぐに体制を整え、土日に3班程度で点検して土砂発生源を確認して月曜日に報告しましたが、現地ではまだ上流からの転石が落ちてくる状態で、点検員が無事に戻ってきたことに安心したことを覚えています。



管理技術者
加藤 真雄さん

今年度最初の「山郷倶楽部」を開催

「山郷倶楽部」は揖斐川上流域山間部の暮らし・文化に直接触れ、水源地保全や防災の大切さを知ることを目的として活動します。募集は毎年1回行われ、今年の倶楽部員は大垣市をはじめ総勢9名の参加で行われます。

7月11日(水)に平成24年度第1回目の「山郷(やまぐに)倶楽部(第9期)」の活動が行われました。

今回は、平成22年1月に揖斐川町坂内川上(さかうちかわかみ)で発生した山腹崩壊や、揖斐川下流部を水害から守る「横山ダム」等を見学しました。また、昼食にはそば打ち体験を実施して、山間部における暮らし体験を行いました。



坂内川上地先の山腹崩壊



横山ダムの監査路

詳細はこちら↓(事務所HPへ)

http://www.cbr.mlit.go.jp/etsumi/topics/20120717yamaguni_9_1.pdf

事業研究発表会が開催される

7月12日(木)・13日(金)に中部地方整備局が主催する事業研究発表会が行われました。当事務所からは調査・品質確保課の高橋調査係長が「深層崩壊に起因する土砂災害に対する施設効果の検討」について発表を行いました。

(高橋係長から一言)

発表という機会を与えていただき、本業務を深く見詰め直すと共に、プレゼンテーションの練習となりました。この経験を今後の業務に活かしていきます。



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。

また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしています。

発行 国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626
E-mail: ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp